

法岩院だより



特別号

- ・ 法岩院 副住職 大本山 総持寺 帰山報告
- ・ 御祈祷のご案内
- ・ 大本山 永平寺の団参旅行について
- ・ 平成25年度8月1日(木)：施食法要のご案内

平成25年7月

★はじめに

檀信徒各位におかれましては日頃菩提寺護寺に大変ご協力を賜り誠に有難うございます。

昭和五十三年九月先代様が亡くなって以来、法岩院住職を拝命し今日に至っております。

平成の時代に入って二十五年時代はめまぐるしく移っております。当山も、今年の四月に副住職が大本山総持寺より修行を終え戻ってまいりました。しかし、これからは真の修行のはじまりと考えております。

皆様にはあたたかく時には厳しく見守っていただき、偉くなく有難い住職と言われるよう、本人の更なる精進を積み重ねて頑張つてほしいと思います。檀信徒の皆様には、ご指導ご鞭撻をよろしく御願ひ申し上げます。

山主 川村昌樹 合掌

★法岩院 副住職 川村 明生 大本山 総持寺 送行報告

『一日不作 一日不食』

法岩院檀信徒の皆様、法岩院副住職の川村明生です。この度、大本山総持寺での修行生活を無事に終え、法岩院に戻ってまいりました。私がここまで来られたのも師匠である父、家族をはじめ、各地区の役員、檀信徒の皆様のご温かいご支援とご協力があつたからだと修行道場を出るときに、改めて感じました。今後は法岩院が自分の生活の拠点となりますが、ここから新たな修行と考えています。私は総持寺での修行中、携帯電話もテレビもない一切外の情報が入ってこない環境で、与えられた業務をただひたすら一生懸命にこなすという日々を送ってまいりました。しかし逆に言えば、余計な事は心配せずにその業務に一心に臨むことができるといっても貴重な体験をすることができました。そして、一日懸命に勤め、疲れ切った体で頂く必要最低限の食事はとてもおいしく、感謝の意でいっぱいでした。

大本山総持寺での日々も法岩院での日々も多少の違いはありますが、

「一日を懸命に勤め、一日に頂く食事に感謝する」ということは変わりません。私はこれからの日々も精進して勤めていく次第です。どうか今後ともよろしく御願ひ申し上げます。

副住職 川村 明生 合掌

お知らせ！

【御祈祷法要の受付をはじめます】

小田原の祈禱寺、大雄山最乗寺鎮護神でも有名な

天狗の姿をした神様、道了尊さまが祀られている法岩院で

は御祈祷をお受けできるようになりました。

◎厄払い、身体健全、合格祈願、商売繁盛、家内安全、

◎七五三参り(十一月)

◎お宮参り

◎初詣(一月)

※御祈祷は、前もって、ご予約していただくようお願い致します。

★予約の詳細

・希望の日時

・氏名

・連絡先

・願い事(身体健全、心願成就、家内安全、厄災消除など)

ぜひ、興味のある方は気軽に法岩院にご連絡ください。

法岩院…〇四一七一八八一七七一(TEL)

〇四一七一八八一七八六(FAX)

★御祈祷では、皆様方のお願い事を御祈祷札に記し、法要を行い、お札をお渡しします。

御祈祷札

大 一万円
小 五千円



← 道了尊様



【特別企画】

法岩院三十四世 瑞世ずいせ拝登随ずいせ行

永平寺と和倉温泉「加賀屋」・北陸路の旅

法岩院徒弟(長男 明生)が大本山永平寺、大本山総持寺にて瑞世を行うこととなりました。

瑞世とは、出家得度した者が修行専門僧堂で仏法を学んだ後、住職となる資格を与えられるための儀式です。

今回は、大本山永平寺の禅師様に代わって一夜住職として導師を勤めさせていただく、生涯一度の出世の大事事を御檀家の皆様方にも是非見届けて頂きたいご案内する次第です。

期日 平成二十五年十月二十五日(金)

十月二十七日(日)

(二泊三日)

別途、参加申込書を同封いたしました。皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

【施食法要のご案内】

●日時

- ・八月一日(木)
- ・午前 十時 法話
- ・午前 十一時 法要

施食法要は多くの僧侶をお招きし、各家のご先祖様方の供養の大法要です。この機会にぜひ、法岩院に御参拝を心よりお待ちしております。

●お願い

- ・塔婆は午後一時頃に境内に出ます。
- ・車でご来山の方は寺前の路上駐車を固くお断りしています。
- ・必ず専用駐車場をご利用下さい。
- ・ゴミ等は必ずお持ち帰りください。

何卒、ご協力お願い申し上げます。

発行	平成25年 7月
編集 発行人	川村 昌樹
住所	〒270-1121 我孫子市中峠 1561
電話	04-7188-1772(TEL) 04-7188-1786(FAX)